

2015 年

11 月号 No. 57

11 月 6 日発行



原水協通信 (茨城版)

原水爆禁止茨城県協議会 〒310-0912 茨城県水戸市見川 5-127-281 水戸平和会館内
TEL/FAX 029-251-9919 e-mail antiatom-i@email.plala.or.jp 会長 加藤 岑生

頒価 ¥220/月
毎月 6 日発行

核兵器廃絶署名
48,379 筆
(11/5 現在)

10. 21 国際反戦デー (水戸)

先月、「10.21 国際反戦デー」が水戸で開かれ、約 200 人が参加しました。

水戸駅南口ペDESTロリアンデッキで開かれたリレートークでは、通りすがりの男子中学生がマイクを握り、「ぼくはまだ子どもですが、平和を壊したくありません。もっともっと、平和にしたいです。今は何もできませんが、皆さんを応援することはできます。」と、全身で力を込めた訴えをしました。

続いて土浦から二人の女子高校生は、「“シールズ”を知って、わたしたち若者も頑張らねばと思いました。もっともっと若者が参加してほしいと思います。デモにも参加します。」と、私たちが勇気づけられました。

大工町までのデモ行進の途中、スケボーに乗って一緒に行進に加わった青年や、道路の反対側から来た部活帰りの高校生と思われる自転車の集団が、大きく手を振りながら私たちのシュプレヒコールに大声で応えてくれました。

青年たちの想いに応えるためにも「戦争法(安全保障関連法)」の廃止をめざし、国民の声を聴かない安倍政権の打倒を、可及的速やかになし遂げたいと、心が揺さぶられる思いがしました。



戦争法の廃止を熱く訴える加藤会長(水戸駅南口で)

今月の草花

9 月末、親戚の法事で北海道にかけました。立つ日、小樽築港駅への道沿いに、オレンジ色と赤いイチイの実がたわわになっているのを見つけました。口に含むと甘いのですが、通行人はほとんどが通勤にせわしく駅に向かう集団で、イチイ並木など目に入らぬようでした。

常緑高木で、神主が右手に持つ薄板の材に利用。そこから「二位」の名をあらわした。東北・北海道では民家に見られる。雌雄異株。別名・スダオノキ。アララギ。オンコ(アイヌ語)。葉松など。(広辞苑)



撮影：柳岡 9 月 28 日 小樽築港駅付近で

イチイ

9 月末、親戚の法事で北海道にかけました。立つ日、小樽築港駅への道沿いに、オレンジ色と赤いイチイの実がたわわになっているのを見つけました。口に含むと甘いのですが、通行人はほとんどが通勤にせわしく駅に向かう集団で、イチイ並木など目に入らぬようでした。

県内被災地に励ましと暖かい希望を送りましょう。

日本原水協はこれまで全国の仲間とともに東日本震災・東京電力福島第 1 原発事故の被災地へなどの「ちひろカレンダー」の贈呈運動を進めてきました。贈呈先の被災地の皆様から将来に對し希望と暖かい励ましに喜ばれ、感謝されております。茨城県原水協も、これまで皆様の協力のもと、毎年百本程度の贈呈に取り組んで来ましたが、しかしながら、今年の東日本・東北豪雨被災のため、特に鬼怒川沿いの被災地は多くの家が、日常家具などが流失あるいは水没し、日常生活に不便と支障をきたしています。その中で、全国各地、茨城県内からのボランティアが支援に取り組んでいることは新聞等でご存知と思います。また、既に支援、援助に取り組んでいる団体もあると思います。

これから寒い季節に入り、新しい年を迎えることになり、被災者は将来に對する不安と憔悴に苛まれていると思います。このため、いわさきちひろさんの絵の平和を願う暖かい希望をカレンダーに込め贈呈したい

県内の普及状況 (10 月末現在)
目標は 2,000 本です。

	販売数	支援数
・茨城農民連	7 本	
・茨商工連	40 本	
・新婦人	1280 本	
・竜ヶ崎原水協	10 本	
・加藤	6 本	4 本
・大洗 (高橋)	25 本	
・古川	4 本	3 本
・茨城 A A L A	5 本	
合計	1370 本	7 本

◎皆様のご協力いただいている「ちひろカレンダー」を、12 月上旬に被災地の常総市に届けに行く予定です。

現在も受け付けておりますので、支援の輪をいっそう広げていただきますよう、よろしくお願い致します。

第 2 回常任理事会開催のお知らせ

日時 12 月 7 日 (月) 15:00-17:00
場所 みと文化交流プラザ 1 階 101 会議室
※ 会議の後、忘年会を開きますので、出欠をお知らせください。なお、詳細については後日ご連絡します。

被災地支援ちひろカレンダー贈呈と、カレンダーの販売のご協力を！

被災地は多くの家屋、日常家具などが流失あるいは水没し、日常生活に不便と支障をきたしています。その中で、全国各地、茨城県内からのボランティアが支援に取り組んでいることは新聞等でご存知と思います。また、既に支援、援助に取り組んでいる団体もあると思います。

動の「ちひろカレンダー」販売に積極的に応募して下さるようお願いいたします。申し込み要領は別紙を参考にしてください。



関東甲信越地域が戦争法による日米軍事訓練の拠点！

関東一円の軍事強化

10月18日から19日千葉県上総一宮、二宮シーサイドオオツカ」で開催されました。

各県から24人、茨城からは竜ヶ崎原水協の島田さんと加藤が参加しました。

第一日は千葉県事務局長の紙谷さんから「関東地域をめぐる米軍と自衛隊について」と題し、名実とともに日米軍事一体化の拠点が大小様々な基地・演習場がある関東甲信越地域にあり、大型ヘリとMV-22、CV-22オスプレイの飛行訓練が常態化する危険が高まっていること。11月に司令部の訓練のヤマサクラ（指揮所演習）が朝霞と座間で実施するなど首都圏に日米陸海軍の一体化が顕著。横須賀ではロナルドレーガンが再配備され、その先導として海上自衛隊最大の護衛艦DDH-188「いずも」が務め、旧海軍の礼式によれば海上自衛隊としては最大の「おもてなし」。関東一円に軍事優先の自衛隊や米軍の訓練空域が設定されていることにも触れ、自衛隊の海外派への日米の先取り訓練と体制強化の現状報告がありました。

山梨からの報告

山梨県代表理事の桜井氏から北富士演習場のMV-22オスプレイが毎週訓練を予告。また、CV-22オスプレイは攻撃機で海兵隊が訓練、40km先の標的を攻撃できる4トンもの重機を装備し、日本では150m以下の飛行は禁止されているが30m以下ではレーダーに映らないからと60m以下の飛行訓練している。生々しい訓練の実情について報告がありました。

また、山梨県原水協事務局長の菅原さんから、10月4日から14日まで被爆者と一緒に行ったヨーロッパ（スペイン、スコットランド、フランス）訪問・遊説について報告がありました。「何より核爆発で非人道性が明らかになったこと、原発事故の深刻さが共通の認識となった」と述べ、市民は核被爆の実相の報告に驚き、学校で取り上げるべきだと、地元のメディアでも大きく取り上げ報道した。「日本原水協の外交力のすばらしさに確信を持った」とのお話がありました。

神奈川からの報告

神奈川の事務局長笠木さんからは神奈川の軍事基地について、リバランズ・日米一体化が進行している中で核兵器に重大な関心を持っている。原子力艦船11基の再配備、G・Wからロナルドレーガンを再配備、イージス艦が3基となり、軍事的機能が強化されている。200カイリ離れた海上で放射能廃液を放出。福島第1原発と同じ原子炉があるにもかかわらず原子力事故の防災対策についても極端に差があるものになっている現状。キャンプ座間では細菌戦で使用される炭そ菌が発見されるなどの報告があった。

東京の事務局長石村さんから横田基地のパラシュート訓練、基地強化反対の運動について報告があった。

戦争法の各地域での闘いの反映と、日米の軍事強化、先取りした海外派兵の準備の報告そして、原発からの核被害の脅威の議論になりました。

(12月号へ続く)

国民平和進行
水郡線コースに参加して

実施日：2015年10月9日(日)
コース：太子駅前

～那珂市リサイクル・センター
太子駅前出発集会→太子役場前→常陸大宮山方地区（総合支所→山方駅前）→同市美和地区（元桜沢小前→桜沢郵便局前）→同市小川地区（小瀬高前）→G.S.前→おおみやコミセンで昼食後大宮集会→大宮駅前→城里町（旧エコス前→城里町役場）→那珂市瓜連地区（あまやスーパー→南瓜連）→菅谷地区（JA 東部支店前→リサイクルセンター）→東海村中央公民館（引き継ぎ歓迎集会）

今年の特徴

・行政の参加

太子町長、常陸大宮・那珂市長からのメッセージが寄せられ、城里町では町長が直接参加し、挨拶があった。

・行進幕

それぞれの市町村参加者を通して行進者が先頭で行進幕を持って行進できたこと。

・県への分担金

市町村の賛同金は増えなかったが、何とか上納できた。

・参加者

城里町では、今年初めて旧エコス前から町役場まで10人が行進でき、全体の参加者も121人と昨年を超えることができました。また、母親大会と日程が重なら、女性の参加が少なかった。

「戦争法真剣に考えなくちゃ！」高校生

ボクらはあきらめない！ぜったいにね

・10月8日（木）15

…30から古河一高校前で、新婦人の支部会議のあと支部員と古河九条の会のメンバー10名以上が「核兵器全面禁止のアピール署名」と「戦争法反対」の宣伝と署名に取り組みました。当日はあいにく3年生が不在で部活を終わった1、2年生に訴えることができました。これまで新婦人6・9行動は「9」の日前後の日に駅前で行ってきました。戦争法については若い人対象に宣伝をしてきました。18歳に投票権が引き下げられることから「戦争法」など「平和の問題を真剣に考えなくちゃ」と話し合いができましたが10名の成果でした。

原水爆禁止署名の歴史的意義

19条を守る運動の原点！

茨城革新懇・記念講演で佐々木茨大准教授が説明

10月3日、水戸の青少年会館で茨城革新懇の第35回総会がありました。記念講演で、佐々木啓・茨城大学准教授（日本近現代史）が「アジア・太平洋戦争と日本国憲法」をテーマに、7頁にわたる詳しいレジュメに沿って、わかりやすく分析・報告されました。「日本国憲法を国民はどのように受け止めたか」の中で、とりわけ9条の実践・定着の特徴として①1952年からの内灘・横田・立川などの米軍基地反対闘争②1954年の米のビキニ水爆実験に伴う第五福竜丸の被爆と乗組員の死を契機に、原水爆禁止署名が自発的かつ爆発的に全国展開され、翌年8月までに3238万人が署名。

この運動を通し、「国民の中に憲法の理念、特に9条・平和主義が根を張るに至った」と説明されました。

編集後記

「戦争法」が可決して一か月。政府は、国民のほとぼりが覚めるのを待っています。この間に、川内原発2号機のみならず愛媛の伊方原発3号機の再稼働も、自治体ぐるみで進めています。

オスプレイの飛び交う米軍・岩国基地まで瀬戸内海を挟み直線で約75km。

世界中に、国民の命と暮らしをこれほど軽視する国があるのでしょうか。

耕作放棄地が目立って増えています。TPPは、限界集落をますます促進することでしょう。

参院選は間近です。今から気合を入れて行きましょう。（柳）